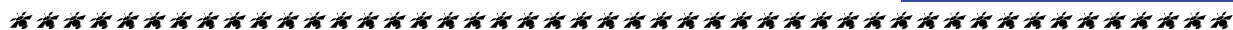




とつか

2020年11月会報 第313号

- 2020 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
- スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let's enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let's help and share each other.”
- 2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 直前会長 浦出 昭吉 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言 ☆地域につなげ・拡げて…☆ 山中 奈子



先日、昨年度まで勤めていた北 YMCA で支援をしていたお子さんのお母さまからお電話をいただきました。Y君は個別支援学級に通う自閉症の男の子で、今年、中学生になりました。小学4年生までは元気に学校に行けていましたが、小学5年生クラスの先生が変わったことをきっかけに不登校に。そんな中、YMCAには来ることができ、元気に体操やSSTのクラスに参加していましたが、最終的には、そのクラスにも来ることができなくなりました。

そんな時、お母さまと一緒に地域の基幹相談支援センターに相談に行きました。日ごろ、顔見知りの方も多くいましたので、今までの経過を報告するとともに、様々な支援の方法を探りました。「本人中心会議」と言われる会合が開かれ、基幹センター・学校・移動支援サービス・YMCAなどY君に関わる人々が集まりどのような支援をするか、それぞれができる事を持ち寄り、Y君が中学生になるに向けての支援を話し合います。一人の子どもにも6人の大人が「あーでもない、こーでもない」と頭をひねり、作戦を考えていきました。結局、小学校に行くことは叶いませんでしたが、中学校の先生との対応が上手くいき、すこし行き渋りは見られるものの、元気に中学校に通うことが出来ているそうです。

私たちに出来る事は小さいですが、地域につながることで様々な化学反応を起こしていけるのです。小さな事から力を合わせ…これからもYMCAの地域活動の場をもっと拡げていければ…と願っております。

◎今月の聖句◎

イエスは言われた。私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、だれの父の許に行くことが出来ない。…」

～ヨハネによる福音書第14章6節から～

新型コロナウイルスの蔓延を始めとする、様々な困難な中であって、私たちは主のように明確な答えを出すことのできる人は、恐らく一人もいないと思います。でも、主は、明確な答えを用意されました。真の神だけが解決策を与道を示すことができる…と教えておられます。日ごろ、わたしたちは、時には、聖書を開いてみることも大事ですね…。

強調月間 ワイズ理解・ASF・ファミリーファスト

「ワイズ理解」・日本に初めてのワイズは1928年11月10日・大阪クラブがチャーターされ、この日を記念して、区がY's Dayとし、今月をワイズ理解の月と決めました。

ASF: Alexander Scholarship Fund、区で集められた献金の10%が国際協会にASF 献金として送金される。

ファミリーファスト Family Fast、TOF や知人・友人に呼び掛けて行う献金、区ではHIV/AIDS 啓発活動の資金に用いられる。ASF・ファミリーファストとともに @500円以上要請されている。(ロースター7ページ参照)。

10月在籍者数	10月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	12	メ	ン	10	83%	他	(円)	(g)	(円)	(円)
メ	ネット	8	メ	ネット	2		前月迄	0	0	0	0
			ゲストら		0		当 月	0	0	0	0
計	20	合計	12				累 計	0	0	0	0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

☆湘南・沖縄部第23回部大会（第1例会振替え）報告☆

若木 一美

日時：10月3日(土)・15:00～17:00

場所：湘南とつかYMCA ホール

出席者：(ゲスト・ビジター)

鈴木弥也子氏 (講演者・環境活動家)

佐竹 博氏 (横浜 YMCA 総主事)

山田敏明氏 (直前理事)

(他の参加者) 区大会アピールの甲府21の皆さん

ほか…。 計) 52名

コロナで様々な事業が中止・延期されるなか、湘南とつかYMCAホールで50人以下という条件により、標記の部大会が開催されました。

第1部は、瀬戸担当主事の司会で「第23回部大会が開催できたことを感謝したい。」旨の祈りを中に、相賀昇牧師の祈祷が執り行われました。

第2部は、伊藤誠彦部書記の司会により、古田部長・佐竹総主事・山田直前理事の皆さんからご挨拶をいただき、式典は終了しました。

続いて辻エクステンション委員長ほかからのアピール後、本年6月に開催予定の東日本区大会ホストクラブの甲府21クラブから大会の紹介が賑々しく行われました。

第3部の記念講演は、明治学院大学4年の鈴木弥也子君

さんの環境問題を考える講演が行われました。自然環境のこと、石炭による火力発電のこと、気候変動のこと、プラスチックごみによる海洋汚染等々多岐にわたる課題をスライドを用いて身近なこととして解決に取り組みましょう…と締めくくられました。

記念講演者の応援団として、また横浜クラブの会員として、田口努同盟総主事が挨拶され、拍手のうちに無事、大会の幕を閉じました。以下、大会スナップです…。



☆部エクステンション委員会から☆ 浦出 昭吉

日時等：9月30日(水)11:00～12:30・中央YMCA606号室

出席者：伊藤幾夫区会員増強事業主任

古田部長他クラブ会長ら委員会メンバー11名



先ず出席者が一様に目を見張るのは配付資料の多いこと、いわく、AGENDA・タタキ台・議事録・アピールリスト等々。さらに当日は

伊藤事業主任からヒアリングと称するアンケート用紙まで配付され、出席委員の何人かは、私を含め、資料に目を通しながらも、その整理に追われている様子が窺われました。

会は、初めに古賀委員から前回委員会議事録の説明があり、特に、コロナ禍がChange!2022プロジェクトの最終年まで続く予想されることから、それまでに周年記念を迎えるクラブに対しては、重点的に会員候補者を紹介することとしたい、…などの点につき、かなりの時間をかけ報告され、また、辻委員長から、2022年末までの各クラブ目標達成数の確認や会えない・集まらない・動けないなどの中での執るべき方策についての意見が交わされました。更に伊藤主任から、ヒアリングの趣旨説明がありました。

委員会に先立ち「つながりマスク」300枚を横浜YMCA学院専門学校作業療法科の学生に贈呈しました。(写真)



☆第2例会報告☆

若木 一美

日時等：10月20日(火)・18:30～20:00・湘南とつかYMCA

出席者：浦出・岡・加藤・柴原・鈴木・瀬戸・土方・吉原メネット・若木
計) 9名

【報告】

- ① 第2回部エクステンション委員会(9/30)：別掲～左欄記事参照～
- ② 湘南・沖縄部部大会(10/3)：別掲～上記記事参照～
- ③ 次期部長選考委員会(10/3)・臨時評議会(10/24)
Aグループ：横浜・鎌倉・とつか・金沢八景
Bグループ：厚木・つづき・つるみ
の2グループにして、次期はAグループから選出する。
- ④ 臨時評議会では、沖縄部を創設することに賛成だが、那覇クラブの意向を部長が確認することに決定した。
- ⑤ YMCAから
今期Y祭は中止し、商店会企画に協賛した。また、チャリティーラン準備状況の報告があった。

【協議】

- ① 11月例会は17日・12月は5日に例会を開催する。
- ② 引き続きつながりマスクにご協力いただきたい。
- ③ その他として、12月19日・全Yクリスマスの計画があるが、詳細はおって通知する。
多摩川を超えてご出席の鈴木ひろ子さんから「皆さんと久しぶりに楽しくお会いできました…」と挨拶を頂きました。

【特別寄稿】 ☆ワイズとYMCAとのパートナーシップ☆

元YMCA主事として、リエゾンとして 山田 公平 (宇都宮クラブ)



YMCAが、地域での役割を果たすには、様々な困難や課題を持つ人々の声を聴き、何が求められているかをよく考え、新しいプログラムを生み出すことが大切である。ワイズには、多職種での経験や人とのつながりを求め、資金的な応援者を紹介してもらうことなど期待できる。YMCAの主事は、頭の中の90%はYMCAの経営固めが役割であると見ている。したがって、残る10%の時間とエネルギーを地域の行事、国際活動、特別講演会を企画することなどに充てていくような働きを期待したい。これまでもそういった行事には、ワイズの応援をお願いしてきた。まさにこの10%の仕事が、地域住民にとって何かユニークな味を持つ団体としてYMCAが映ることになる。この働き、イメージを支え、新たなブランドを生み出すために地域にあるワイズの持つ力に頼ることができるかが問われている。地域のニーズに応えるためには、多くのボランティアを巻き込むことが必要。そんな中でワイズメンの経験とつながりに期待していきたい。

新型コロナウイルスによってワイズもYMCAもその活動の多くがストップしてしまい、これからもいつまで続くか分からない状態にある。しかし、このコロナ禍によって新しい地域の課題が現れてきた。その中にこれからのYMCAとワイズの新しい役割やパートナーシップの在り方が示されているのではないかと。今こそ、各地で、YMCAとワイズが共に話し合い、地域の中での課題にどう取り組むかを考え、地域の人々にとって有益な働きをするチャンスが与えられていると考えたい。まず、話し合いましょう。そして共に地域の課題について、当事者側の理解を深めるための勉強会をしていきましょう。それが、今年度の仕事。来年度には何か協働して行う仕事をスタートさせてもらいたい。小さいことでも地域の人々に意味ある活動を。そこにワイズが拮がっていき鍵があるように思う。

- 註 - リエゾンとは、YMCAとワイズの橋渡しの役割・機能をいい、区には「ワイズ・YMCAパートナーシップ委員会」があり、山田さんも委員のお一人。(山田様、お忙しい中 有益なご寄稿を頂き有り難うございました。)

☆マスク短信☆ つながりニュースから～ 鈴木ひろ子・吉原和子



私は住まいが東京なので、コロナの関係で例会出席は控えておりますが、つながりマスクの事を知り、作り始めました。どんな方が付けてくれるかな？気に入ってくれるかな？と思いながらの制作でした。コロナ騒ぎは、収まりそうもありませんが、早く落ち着いた生活に戻れるよう祈りながら…。(鈴木)



農協の月刊誌「家の光」に手作りマスクの型紙があり、作り始め、鈴木さんにも型紙を送ってお願いしましたら、何と120枚以上作って下さいました。皆さんにはマスクで参加していると伝えて！とのことでした。今回のつながりマスクで、「家の光」から記事活用体験ということで、優秀賞を頂きました。(吉原)

☆横浜クラブを訪問して☆

加藤 利榮

今月のスピーカーは吉村恭二元総主事と伺っていたので、10月8日(木)18:30・中央YMCA606号室にて開かれた10月の横浜クラブ第1例会に参加しました。会場には、写真にもあるように、ツツキの鈴木茂さん、またツツキは若木会長ご夫妻や浦出さんも駆けつけられ、賑やかな例会となりました。

開会セレモニーのあと、早速、卓話に入りました。

1972年に乞われて熊本から横浜に、以来26年間、初めに接した方は高取さんや上野運輸の上野さん(当時の賛助会会長)だった。湘南とつかYMCAの前身、トツカショッププラザ、次いで77年には北Y、その後、藤沢YやACT、81年には横須賀Y、また、厚木Y・西Y・大和Y・八景Y・山手台Y、そして、戸塚Yや鎌倉Yの建設と…、その間に在って、タイのパヤオセンターやハッピーホーム、米国サンジェゴYとの交流などが思い出される。厚木Yの時は横浜Y100周年、94年のトツカYの時は110周年だった。幸い健康にも恵まれている。今後とも宜しく…。(拍手) 久しぶりでのヨシムラ・ブシに、佐竹・古田のご両人は当時を思い出しておられるご様子でした。

ビジネス・諸報告の後、ハッピーバースディはなんとわが若木メネットに…。一同記念撮影に納まり閉会、有志で、久方ぶりでの夕食会に…。



レザン通信

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬良文

ワークサポートセンターレザンではお客様とスタッフのコロナ禍に対する安全のため「新しい生活様式」に合わせているので、1日の来客数は5組程度です。

11月から毎週水曜日に、湘南とつかYMCAのスタッフ向けのお弁当の宅配を始めました。8月のテストでは好評を頂き、正式にプログラム化することとなりました。

レザンのキッチンが開放型のため、お弁当販売には適してはおりませんが、少量・消費時間などの条件付きで保健所の許可が下りました。販売数が増えることで、収益面だけでなく、メニューの幅を広げていくこともできるようになります。

より多くのスタッフの皆さんに喜んでいただけるように…と念じながら取り組んでいく心算です。

(写真はお弁当の見本)



～横浜YMCA136周年の歴史とこれからの未来へ～

1884年に横浜海岸教会にて「祈り」から始まった横浜YMCAは2020年10月11日に136年を迎えました。今までですと一つの会場に職員が集まり研修会を行うところですが、コロナ禍のさ中でもあり、今年は県内各地のYMCAに分散し「YMCA記念日」を行う異例の会となりました。今年も、各事業から新しい生活様式の取組みが報告され、厳しい状況の中でそれぞれが工夫し、日々の働きをしていることに感銘を受けました。

10月13日、「上海・光州・横浜三都市YMCA会議」が行われ

ました。2年に一度、この3か国都市のYMCAが集い、連携・協働を目的に協議します。今回は、僭越ながら私も参加、意見の発表をさせていただきました。内容は、国連の提唱するSDGs、横浜YMCAの取組みと未来へ向けての提案でした。国連は、2030年をゴールに17の目標を掲げています。今回の発題をきっかけに、3か国で協働してアジアのYMCAが共に活動できるようになれば…と思います。

SDGsのゴール(2030年)の先にある横浜YMCA150年(2034年)を見据えて活動をしていきたいと思っています。



☆今月の歳時記から☆

‘マスク’と‘枯尾花 かれおぼな’

‘マスク’、まさかマスクが季語にあるとは存じませんでした。冬の風物詩になっていたマスク、コロナ禍騒ぎで、一躍クローズアップされました。今までですと、口元が隠れるので、顔が無表情になりがち…から、風邪でも引かない限り使われませんでした…が今や必需品、変われば変わるモノですね…。

マスクして我を見る目の遠くより 虚子
マスク洩る愛の言葉の白き息 三鬼
マスクして北風を目にうけてゆく 梵
マスクして人の怒りのおもしろき さち子

次に‘枯尾花’、穂も葉も枯れ果てた冬のすすき、白く枯れた穂が風に吹かれているさまは哀れげで、寂寥感の極み、枯れ尽くした芒も野原一面に群れると美しくもある。またの名、枯薄…。大正末期、野口雨情作詞・中山晋平作曲の「俺は河原の枯れすすき…」の「船頭小唄」が流行りました。

ともかくもならでや雪の枯尾花 芭蕉
狐火の燃えつくばかり枯尾花 蕪村
枯れすすき海はこれより雲の色 静塔
落柿舎のひとむら芒枯れにけり 鬼城

(午)



☆11月・12月のこよみ☆

- >11/3(祝・火) 湘南とつかYMCAの‘Y祭’ 13:00～
- >11/12(木) 横浜クラブ第1例会：中央YMCA18:30
- >11/14(土) 横浜YMCAチャリテールン：オンライン
- >11/17(火) 第2例会：湘南とつかYMCA205号室/18:30
- >11/30(月) 湘南とつかYMCA運営委員会/18:30
- >12/1(月) 第89回Y-Y's協議会：中央YMCA19:00
- >12/5(土) 第1例会：湘南とつかYMCA/18:30
- >12/12(土) 横浜クラブ90周年式典：中央YMCA14:00
- >12/19(土) 全Yクリスマス：もみじ坂教会
- >12/22(火) 第2例会：柏尾・18:00～

～Happy Birthday～

若木一美さん 11月28日
浦出瑞江さん 11月29日

【掲示板】

会長

◎ 11月の第1例会について

- ① 例年、この月は3日の湘南とつかYMCA祭のワイズバザーを実施してきましたが、ご存知コロナ禍により、本年は下記の催事が開催されることになりました。特段、例会には振り替えませんが、ご都合のつく方はお出掛けになりませんか…。

記

日時等：11月3日(火)13時～18時・とつかYホール
参加者：戸塚東口商店会・湘南とつかY運営委員会
その他：ア 記念ライブ・講演会などがあります。

イ 参加費無料

- ② 11月7日(土)の第1例会は、ありません。
11月17日(火)の第2例会は予定どおり開催します。
- ③ お問い合わせ先：瀬戸担当主事、又は加藤書記まで。

◎ 11月の横浜クラブ第1例会について

- ① 日時：11月12日(木) 18:30～
場所：関内中央YMCA・606号室
卓話：高田一彦氏(元ヨコハマ会員・千葉ウェストクラブ会長)
- ② 横浜クラブ90周年記念行事の一環として、加藤・吉村各氏に引き続いての第3弾です。
- ③ ご都合つく方のご出席を…とのことです。
なお、90周年式典は、12月12日に行われます。

◎ つながりマスクの記事がChange! 2022に載りました

- ① 10/15付Change! 2022・16号2頁に、千葉裕子さん
が写真とともにご執筆された記事が載りました。
- ② お話しは、「つながりマスク」からエクステンション
に及んでいます。
- ② まだの方は、是非、ご覧になってみてください。

後記

コロナ禍…と言われながらも早や晩秋に…。‘秋深し隣りは何を…’

いまこそ Change! 2022 へ…

(T/K)